

ふれあいネットワーク



三種町社協だより

きずな

令和元年

9月

第53号

三種町社会福祉協議会
秋田県山本郡三種町森岳字上台 93-5
TEL (0185) 72-4400
FAX (0185) 83-3200

ホームページでもご覧になれます ▶▶▶

三種町社協

検索



8月6日 夏休みジュニアボランティア講座&おたすけ愛講座
(関連記事は7ページ)



－題字－ 東北福祉大学 宮腰葵さん

7月1日から8月2日までの約1か月間、三種町社会福祉協議会にてソーシャルワーク実習をさせていただきました。

大学で学んできた内容を踏まえながら、業務を実際に見せていただく中で、三種町社会福祉協議会と地域との強い結びつきを感じるような場面が多々ありました。また三種町社会福祉協議会の職員の方々はもちろん、福祉施設や地域にお住まいの方々ともたくさん関わらせていただき、学びの環境に恵まれたことに感謝しています。



就任のご挨拶

三種町社会福祉協議会

会長 小沢 寿 昭

初秋の候、皆様におかれましては益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。平素より、三種町社会福祉協議会の運営につきましましては、格別のご支援ご協力を賜りまして厚く御礼申し上げます。

このたび、前任者藤原優会長のご勇退に伴い、役員各位のご推挙いただき会長職を拝命いたしました。

今日、社会や家庭のあり様が変化し、人と人とのつながりの希薄化も相まって、住民の福祉や生活課題が多様化しております。

当社会福祉協議会は地域福祉を推進する団体として、様々な活動を展開しておりますが、このためには住民の皆様の参加が必要不可欠となっております。

このような中で「住民誰もが共に支え合い、助け合い、安心して生活が送れる地域社会」の実現を図るため、住民の皆様の主体的な活動そして参画をお願いしながら、職員共々、全力を尽くして参ります。

皆様には前任者同様、ご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。就任のご挨拶といたします。

役員を

紹介します

監事	監事	監事	理事	理事	理事	理事	理事	理事	理事	理事	理事	副会長	副会長	会長
加藤 正美	佐々木 洋一	牧野 三千雄	池内 金明	加賀谷 司	田川 政幸	工藤 正	阿部 覚	嶋田 博光	平賀 真	大山 陽子	成田 隆道	篠田 健三	小沢 寿昭	



令和へと受け継ぎつなげる赤い羽根 赤い羽根共同募金

共同募金は、地域の様々な課題を共に考え、解決に向け取り組む活動や地域の福祉向上を推進する活動を支えます。

皆様のあたたかいご協力をお願いいたします。

- ◆10月1日から12月31日まで実施しております。
- ◆各地区を担当されている方が訪問いたします。

戸別募金 **600円以上** (各世帯をお願いいたします。)
大口募金 **1,000円以上** (各法人・商店等をお願いいたします。)

※皆様からお寄せいただきました募金は、下記団体と県内で福祉活動をする団体等（共同募金だより記載）の事業に対し、来年度に助成されます。

令和元年度 共同募金による助成予定団体

- | | | |
|---------------------------------|---|---------------------------|
| ◎ 琴 丘 小 学 校 | ふくしん坊スクール | ※表記は◎団体名…事業名
となっております。 |
| ◎ 下 岩 川 小 学 校 | 児童地域福祉交流事業 | |
| ◎ 森 岳 小 学 校 | 福祉教育推進事業 | |
| ◎ 金 岡 小 学 校 | 金小思いやりプロジェクト | |
| ◎ 湖 北 小 学 校 | ふれあい体験活動 | |
| ◎ 浜 口 小 学 校 | 浜口小学校福祉教育推進事業 | |
| ◎ 琴 丘 中 学 校 | 福祉施設訪問体験および社会貢献活動 | |
| ◎ 八 竜 中 学 校 | 八竜ふるさとキャリア教育 | |
| ◎ 三 種 町 老 人 ク ラ ブ 連 合 会 | 三種町老連ランドゴルフ大会 | |
| ◎ 三 種 町 身 体 障 害 者 協 会 | 三種町身体障害者福祉研修大会および
軽スポーツレクリエーション | |
| ◎ 三 種 町 遺 族 会 | 三種町内忠魂碑・平和記念碑 清掃・草刈活動 | |
| ◎ 三 種 町 母 子 福 祉 会 (八 竜・山 本・琴 丘) | ひとり親家庭のふれあい交流会 | |
| ◎ 三 種 町 手 を つ な ぐ 育 成 会 | 本人活動支援事業 | |
| ◎ 三 種 町 民 生 児 童 委 員 協 議 会 | 三種町ひとり暮らし情報交換会 | |
| ◎ 三 種 町 ボ ラ ン テ ィ ア 連 絡 協 議 会 | 三種町ボランティア連絡協議会研修会
「その後の被災地の買物支援」 | |
| ◎ 声 の サ ー ク ル 「か くれ ん ぼ」 | 「広報みたね」の音訊・朗読会・研修会 | |
| ◎ 三 種 町 社 会 福 祉 協 議 会 | 広報誌発行事業、地域福祉活動推進員育成事業、生活物資備蓄(支給)事業、夏休みジュニアボランティア・学生ボランティア受け入れ支援事業、地域担い手発掘事業、傾聴ボランティア 33の会プラス事業、法律相談支援事業 | |



平成30年度は、昨年に引き続き県より受託した生活困窮者自立支援制度の子どもの学習支援事業や、法人としての後見受任、そして新たな取組みとして三種町における市民後見人養成講座を開催するなど、事業計画に沿った活動を展開することができました。

また、次年度は、第2期地域福祉計画・地域福祉活動計画の最終年度を迎えることから、次期計画策定に向け準備等を行いました。

一方で、本会の財政面において大きなウエイトを占める介護保険事業及び障害福祉サービス事業では、報酬改定の影響と介護職員の人材不足で厳しい運営状況下にあります。人員配置の見直しや、次年度に向けた人材の確保など、安定した事業運営が継続できるよう取組みを進めました。

今後も、三種町の福祉を支える中核的団体として、健全な法人の運営に努めてまいります。

1 ソーシャルワークの展開

(1) 地域における総合相談支援活動

地域自立生活上の課題に広く対応する「ふれあいあんしんセンター」と、一般高齢者から要介護高齢者の保健・福祉・介護等の課題に対応する「相談支援センター」の緊密な連携の下、地域における総合的な相談支援活動（ソーシャルワーク）を展開しました。

(2) 権利擁護センター

主として成年後見制度に関する相談支援、関係機関との連絡調整、法人後見、広報啓発の4つの機能を総合的に担うセンターです。

(3) 小中学校における福祉教育

学齢期から一人ひとりの人間を大切に思う心を育み、共に生きる地域社会のあり方への理解を深めるために福祉教育を行いました。町内の中学校（2校）の3年生を対象に、介護施設等を訪問する際の留意点や配慮事項、具体的な高齢者との接し方を学習しました。また、すべての小学校の4年生を対象に、高齢者疑似体験や車いす体験、アイマスクと白杖を使った視覚障がい者体験を行いました。体験学習の注意点は、障がい者や高齢者は「～ができないから大変そう」という否定的なイメージを強化してしまう側面があることです。近年、福祉関係者の間では「貧困的福祉観」といわれています。福祉教育の結果、意図せず子どもたちに「貧困的福祉観」を植え込む危険性があるということです。この点に注意し、障がいがあってもできることはたくさんあり、その人らしく地域で活発に自立生活を送っている方がいることを知ってもらうため、障がい当事者にゲストティーチャーを依頼し、子どもたちと実際に交流しながら学習を深める機会を多く持ちました。福祉教育に参加した小中学生は延べ262人でした。

(4) おたすけ愛講座

地域の世話役やボランティアリーダーに向けた研修を実施しました。

(5) 日常生活自立支援事業

社会福祉法に規定された第二種社会福祉事業であり、法律上は「福祉サービス利用援助事業」といいます。精神上の理由から日常生活に支障のある者に対し、無料又は低額で相談・助言を行い、福祉サービスを受けるために必要な手続きや費用の支払に関する便宜を図ることが主な事業内容になります。利用にあたっては契約締結能力があることが前提になります。平成30年度末時点での契約者数は23人となっています。

(6) 権利擁護支援の体制構築モデル事業

平成30年度、秋田県で唯一のモデル指定社協となりました。成年後見制度利用促進法に規定する市町村の体制整備に向けた関係者の合意形成、『三種町成年後見制度利用促進計

画』を『第3期三種町地域福祉計画・地域福祉活動計画』の中で検討する方向性を三種町と共有することができました。

(7) 市民後見人養成講座

秋田県成年後見推進事業による市町村補助事業であり、三種町から本会が事業を受託して実施しました。基礎編と実践編を合わせて12日間、時間にして50時間以上におよぶカリキュラムを編成し、法律専門職や町内の福祉専門職等、多くの関係者の方々の支援を得て実施しました。10名の申込があり、無事に全員修了することができました。

(8) 子どもに対する学習支援事業

事業主体は秋田県。本会が当該事業を受託し、町内の被保護世帯および就学援助制度利用世帯、ひとり親世帯の中学1～3年生を対象に実施しました。登録者数は10人（男2人、女8人）。原則として土曜日の午後に地域福祉センター内で教室を開催する集合型スタイルであり、平成30年度は49回実施しました。参加延べ人数は197人。平成30年度から高校生世代も対象となりましたが、実績はありませんでした。

(9) リユース（学習用具等再活用）事業

学用品、制服、靴、部活動の用具等を再活用する事業です。社協の広報やフェイスブックで当該事業を知ったという住民や、日頃の総合相談支援活動で連携している福祉事務所からの問い合わせが多数ありました。リユースの実績は15件でした。

(10) 家族介護者交流事業（スマイルの会）

通算5回開催しました。参加延べ人数は50人と前年度に比べて減少しています。要介護者の施設入所等で17人の家族介護者が当該事業の対象から外れました。代わりに8人の新たな家族介護者が加入しています。平成30年度末時点の家族介護者名簿登録数は49人（女性42人、男性7人）。実施にあたっては、参加者のニーズを汲み取り、マンネリ化しないようにプログラムの創意工夫に努めました。

(11) 救急医療情報キット配布事業

一人暮らし高齢者や虚弱な高齢者世帯のネットワーク活動を推進するため、担当の民生委員と連携して当該キットを希望する対象世帯に配布しています。平成30年度末時点で560世帯、609人に配布しています。

(12) その他の地域支援活動

地域のサロン活動やボランティア活動を側面的に支援しました。具体的には、利用者や関係機関との連絡調整、各種助成金の情報提供・申請書や報告書の作成支援、研修の企画・実施等について、サロンやボランティアのメンバーと協議しながら必要な支援を行いました。また、三種町民生委員・児童委員協議会と一人暮らし高齢者等を対象にした見守りネットワーク活動に取り組むとともに、見守り世帯の情報共有を目的にネットワーク会議を開催しました。

2 在宅福祉サービス事業

(1) 活動について

福祉サービス課では、利用者が住み慣れた地域で、自分らしく、そして安心した暮らしが続けられるよう、自立生活の支援を念頭に置いたサービス提供に努めました。

また、利用者が抱える生活課題の早期発見に努め、改善への働きかけを行いながら、その他関連するサービスや関係機関と連携し支援に努めました。

①介護保険事業

相談支援センター、ホームヘルプサービス、デイサービスセンター、訪問入浴サービスで実施しました。

②介護予防・日常生活支援総合事業

ホームヘルプサービス、デイサービスセンターで実施しました。

③障害福祉サービス

ホームヘルプサービス、デイサービスセンターで実施しました。

④受託事業

町からの委託を受け次の事業を実施しました。

- ・移動支援ホームヘルプサービス
- ・生きがい活動支援通所
- ・身体障害者訪問入浴サービス
- ・配食サービス
- ・外出支援サービス
- ・生活支援ハウス

3 内部研修

平成30年度は、各事業所で介護事故に関する研修会を実施しました。

4 実習生の受け入れ

平成30年度は、社会福祉士実習生として東北福祉大学から1名の実習生を受け入れました。

5 地域福祉センターの管理経営

三種町地域福祉センターを地域福祉の活動拠点として捉え、地域住民の福祉ニーズに応じた諸活動、各種サービスを実施するとともに、事業計画に沿った効率的な管理経営に努めました。

6 共同募金助成金事業

地域の福祉課題を解決していくためには、地域住民の福祉活動への参加や協力、様々な機関、団体、地域住民の連携が不可欠です。その方策として、団体や住民に対する福祉教育や啓発活動が最も重要となります。平成30年度は、福祉教育、社協だよりの発行、無料法律相談、生活困窮者支援および地域の担い手づくり等に共同募金助成金を活用し事業展開を図りました。

平成30年度の共同募金助成金の総額は、1,039,592円でした。

7 その他の事業

(1) たすけあい資金貸付事業

平成30年度の貸付件数は、継続件数が46件、新規貸付は22件でした。

(2) 生活福祉資金貸付事務

平成30年度の貸付事務件数は、継続件数が39件で新規貸付はありませんでした。

(3) 苦情の解決

平成30年度の苦情の件数は、ホームヘルプサービスで2件、デイサービスセンターで1件でした。



平成30年度 一般会計資金収支決算報告

(平成30年4月1日から平成31年3月31日)

(単位：円)

	収入の部		支出の部	
	勘定科目	金額	勘定科目	金額
事業活動による収支	会費収入	3,339,720	人件費支出	221,917,057
	寄附金収入	3,153,850	事業費支出	30,643,072
	補助金・負担金収入	60,569,840	事務費支出	39,530,683
	共同募金配分金収入	1,039,592	貸付事業支出	1,005,000
	受託金収入	61,983,969	助成金支出	864,000
	貸付事業収入	1,220,000		
	事業収入	298,578		
	介護保険事業収入	138,358,720		
	障害福祉サービス等事業収入	8,494,410		
	雑収入	9,633,242		
	事業活動収入計(1)	288,091,921	事業活動支出計(2)	293,959,812
	事業活動資金収支差額(3) = (1) - (2)			△ 5,867,891
施設整備等による収支	施設整備等寄附金収入	0	固定資産取得支出	331,560
	施設整備等収入計(4)	0	施設整備等支出計(5)	331,560
	施設整備等資金収支差額(6) = (4) - (5)			△ 331,560
その他の活動による収支	たすけあい貸付基金積立資産収入	1,005,000	たすけあい貸付基金積立資産支出	1,220,070
	サービス区分間繰入金収入	22,342,027	サービス区分間繰入金支出	22,342,027
	その他の活動による収入(退職手当積立基金預け金返還金収入等)	19,845,383	その他の活動による支出(退職手当積立基金預け金支出等)	9,960,481
	その他の活動収入計(7)	43,192,410	その他の活動支出計(8)	33,522,578
	その他の活動資金収支差額(9) = (7) - (8)			9,669,832
当期資金収支差額合計(10) = (3) + (6) + (9)				3,470,381
前期末支払資金残高(11)				36,766,214
当期末支払資金残高(10) + (11)				40,236,595

みたねペンリレー

町内でご活躍されている方の
ペンリレーコーナー！第2走者

今回のペンリレー走者は...

伊藤 幸夫 さん(85歳)

プロフィール

- 外岡在住
 - 三種町老人クラブ連合会 会長
 - 中嶋地区老人クラブ 会長
- (他多数所属)



今、なにしてる？

三種町全体の老人クラブの会長として、高齢者の健康づくりに力を入れ、当会の活動を進めております。その他、三種町老人クラブ連合会では、町中の景観の美化活動として、花壇作りを各地区でやっています。

私の住む中嶋地区の老人クラブの活動としては、グラウンドゴルフによる健康づくりや、北金岡駅のトイレの清掃を定期的に行っています。また、冬に彼岸花作りなどで得た収入で移動研修といった行事の開催も考えております。

現在の課題は、「まだ若いから」などの理由から、老人クラブへ新しく入会してくれる方が少なくなってきたことです。黙っているとダメになるので、地域みなさんに健康で居続けてもらえるよう、仲良く楽しく活動できる様々な行事を催すことで会員を増やし、会を継続していこうと考えております。体の動く限りは活動を頑張っていきたいものです。

美化活動で作られた花壇



中嶋ふれあいセンター



次回もお楽しみに!!

家族介護者交流会

いま一度確認しよう！交通安全

7月12日に家族介護者交流会「スマイルの会」を開催しました。今回は交通安全と詐欺対策を学ぶため、能代警察署 安全・安心アドバイザーの方々から寸劇などを披露していただきました。

参加した皆様は横断歩道を渡るシミュレータを体験したり、寸劇から新しい手口の詐欺について学びました。

最近では悲しい事故のニュースが多かったり、新たな手口の詐欺が次々と出てきたりしています。誰の身にも起こりうることとして、事故や事件を予防する知識を備えておきたいものです。



夏休みジュニアボランティア講座&おたすけ愛講座

～ こどものまち しごとーいあきた in みたね ～

8月6日、八竜農村環境改善センターにて夏休みジュニアボランティア&おたすけ愛講座を開催しました。

『こどものまち しごとーいあきた』とは、小学生を対象にした、仮想の町をつくる職業体験イベントです。秋田県内で行われているキャリア教育プログラムのノウハウを活用し、昨年に引き続き2度目の開催となりました。

今年は町内の小学4年生から6年生が24名、ボランティアの方々が12名、総勢36名が参加しました。

『こどものまち』には、様々なサービスを提供する職場があります。参加する子どもたちはそれぞれの職場で働いて、お給料をもらいます。そして、好きなものを買う、税金を納める、募金をするなど、自由に使うことができます。

イベントを通じて、子どもたちが将来の夢について考え、社会の仕組みを知り、社会性や協調性、自立心を養うきっかけとなることを目指しました。





善意 ありがとうございます

(敬称は略させていただきます)

香典返し (8月23日までの届出)

- ・清水 匠 (浜 田)
- ・伊藤 藤雄 (豊 岡)
- ・児玉 純一 (長 信 田)
- ・藤原 行毅 (不 動 田)
- ・加藤 誠一郎 (鹿 北 一)
- ・工藤 敬一郎 (館 村)
- ・清水 成一 (浜 田)
- ・加藤 博美 (上岩川羽立)
- ・近藤 征二 (鹿 北 一)
- ・池内 悦雄 (金 光 寺)
- ・大山 えつ子 (鯉 川 北)
- ・島田 純二 (林 崎)
- ・荒谷 由 範 (大 口)

- ・川 村 傳 (鹿 北 一)
- ・信 太 勇 (川 尻)
- ・小山内 孝美 (長 面)
- ・近藤 和 則 (鹿 渡 中 沢)
- ・後藤 孝 子 (鹿 中)
- ・高橋 勝 子 (鵜 川)
- ・嶋田 良 子 (大 町)
- ・清水 恒 吉 (浜 田)
- ・田 森 進 (富 岡)
- ・児玉 純一 (割 道)
- ・相沢 公 英 (釜 谷)
- ・平塚 三千男 (山 谷 南)
- ・児玉 定直 (鵜 川)
- ・西 方 智 美 (鵜 川)

寄 贈

- ・佐々木 初子 介護用品
- ・三種町老人クラブ連合会
山本支部 会長 伊藤 幸夫
タオル多数



三種町老人クラブ連合会山本支部よりタオルを多数寄贈

平成30年度

秋田県共同募金会会長表彰状および 共同募金運動感謝状の贈呈

赤い羽根共同募金運動に対する平成30年度までの貢献に対し、秋田県共同募金会より、7月1日に(株)成田建設様へ大口寄付者に対する感謝状が、7月3日に三種町役場本庁様へ秋田県共同募金会会長表彰の表彰状がそれぞれ贈呈されました。

いただいた募金は、全国の共同募金会を通じて、地域貢献のために大切に役立たせていただきます。



(株)成田建設様へ感謝状を贈呈



三種町役場本庁様へ表彰状を贈呈

長年のご支援まことに
ありがとうございます。

弁護士による 無料法律相談

三種町地域福祉センターにて、弁護士による無料法律相談を開催します。

金銭、土地、離婚、損害賠償等の法律一般についての困りごとの相談ができます。

◆日 時

- ①9月19日(木) 14:00~16:00
- ②10月17日(木) 14:00~16:00

◆場 所

三種町地域福祉センター 図書室

◆定 員

最大4名まで(要予約)。
1名あたり30分以内の相談となります。

◆お申し込み・お問合せ先

三種町社会福祉協議会 TEL: 83-4861

この事業は皆様からの共同募金の配分金の一部を活用し行われています。



- 本誌「三種町社協だより」は皆様からの共同募金の配分金の一部を活用し発行しています。